

OneTouch™ AT G2

Network Assistant

スタート・ガイド

OneTouch™ AT G2 Network Assistant は、頑丈で使いやすいハンドヘルド式のネットワーク・アナライザーです。

本ガイドには、アナライザーを使い始めるための基本情報が記載されています。詳細については、enterprise.netscout.com/support/manuals でオンライン提供されている最新版の『OneTouch AT G2 ユーザー・マニュアル』を参照してください。

警告

火災、感電、その他の怪我を避けるため、次の注意事項を厳守してください。

- 本製品を使用する前に、安全性に関する情報をすべてお読みください。
- 本製品を改造しないでください。
- 本製品は指定された方法でのみ使用してください。指定外の方法で使用した場合、安全性に問題が生じることがあります。
- すべての手順をよくお読みください。
- 弊社指定の電源アダプターのみを使用してください。
- 爆発性のガス、蒸気、粉塵、湿気のある環境で本製品を使用しないでください。
- 本器が損傷している場合は、使用しないでください。
- 本製品が正常に機能しない場合は、使用しないでください。
- 本製品を使用する前に外装を点検してください。プラスチックに亀裂や欠損がないか調べてください。
- 端子の周りの絶縁状態を注意深く確認してください。
- 本器をクリーニングする前に、入力信号を除去してください。
- 本製品の修理は認定技術者が行ってください。
- 指定された交換部品のみを使用してください。
- 本製品の内部には、ユーザーが修理できる部品はありません。
- ユーザーが交換可能な部品はバッテリーだけです。
- バッテリーを交換する以外には、ケースを開けないでください。
- ケースをクリーニングする際には、水または水と中性洗剤で湿らせた柔らかい布を使用してください。



コネクター、キー、LED

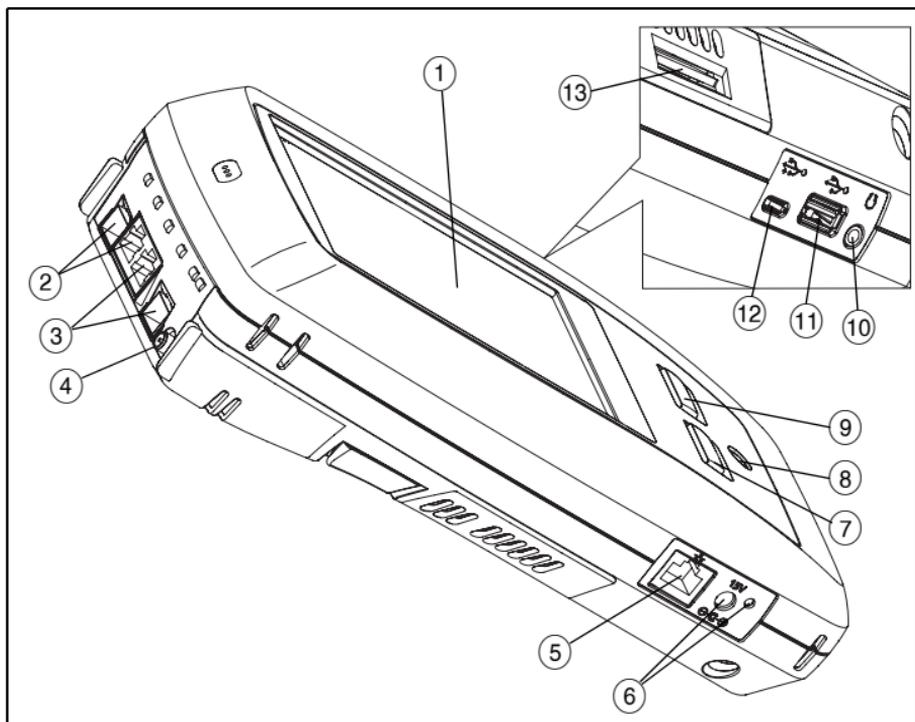


図 1. コネクター、キー、LED

- ① タッチスクリーン式 LCD ディスプレイ。
- ② 有線イーサネット・ポート B および光ファイバー・ポート B SFP レセプタクル-ポート B リンクおよびアクティビティ・ライトは上部に配置されています。ポート B はケーブル・テスト、パケットのキャプチャ、および VoIP 解析に使用されます。
- ③ 有線イーサネット・ポート A および光ファイバー・ポート A SFP レセプタクル-ポート A リンクおよびアクティビティ・ライトは上部に配置されています。テスト対象のネットワークをポート A に接続します。
- ④ 外部アンテナ・コネクター-リンクおよびアクティビティ・ライトは上部に配置されています。
- ⑤ 管理ポート - アナライザーのリモート制御、アナライザーとの間でのファイルのコピー、Web のブラウジング、スイッチへの SSH または telnet などに使用します。
- ⑥ AC アダプター用コネクター - バッテリーの充電中は LED が赤に、バッテリーの充電が完了している場合は LED が緑になります。
- ⑦  HOME - ホーム画面に移動するには、HOME (ホーム) キー  を押しします。
- ⑧ 電源キー。このキー  でデスターをオン/オフします。
- ⑨  TEST - AutoTest (オートテスト) キーを押すと、テストが開始します。ディスプレイ上の [オートテスト] ボタン  をタップしてテストを開始することもできます。
- ⑩ ヘッドセット・ジャック
- ⑪ タイプ A USB ポート - ファイルのインポートおよびエクスポート、ソフトウェア更新プログラムのインストール、WebCam またはビデオ・プローブの接続、オプションの Wi-Fi アダプターの接続に使用します。
- ⑫ Micro-AB USB ポート - このコネクターは、将来に備えて用意されています。
- ⑬ SD カード・スロット - キャプチャ・ファイルは SD カードに格納されています。SD カードを使用して、プロファイルや他のファイルをインポートまたはエクスポートできます。

ホーム画面

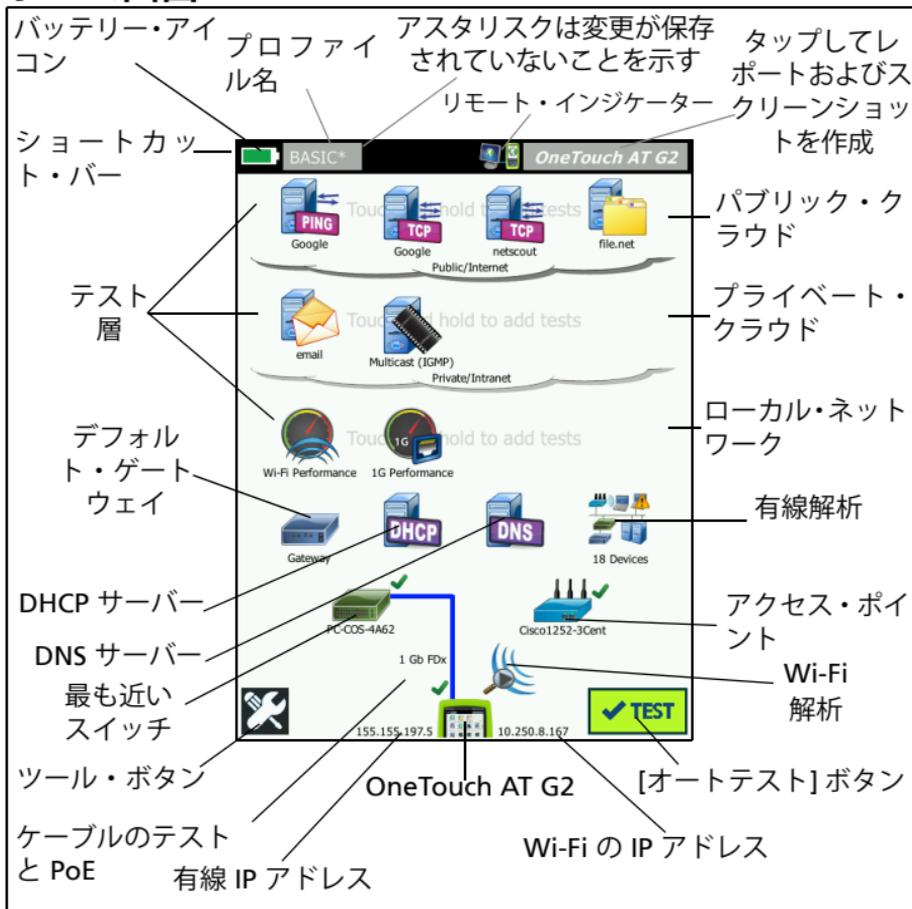


図 2. ホーム画面

ディスプレイの上部にショートカット・バーが表示されます。すべてのテストが完了し、すべてのテストに合格した場合はショートカット・バーが緑になり、いずれかのテストが不合格になった場合は赤になります。

- バッテリー残量が 20% 未満になると、**バッテリー・アイコン**が赤に変わります。
- テスト・プロファイルを保存、読み込み、管理するには、**プロファイル名**をタップします。
- アスタリスク (*) は、保存されていない変更がプロファイルに含まれていることを示します。
- OneTouch アナライザーへのリモート接続が確立されると、**リモート・インジケータ**が表示されます。
- スクリーンショットを撮ったり、テスト結果をレポートに保存するには、**OneTouch AT G2** ボタンをタップします。

テスト層には、ユーザーが作成および変更可能なカスタム・テストであるユーザー・テストが含まれています。

- 新しい**ユーザー・テスト**を追加するには、テスト層の空白部分を長押しします。
- テストを設定するには、ユーザー・テスト・アイコンをタップしてから、**[セットアップ]**タブをタップします。テストの結果を表示するには、**[結果]**タブをタップします。
- ユーザー・テストを移動、コピーまたは削除するには、ユーザー・テストをタッチしてホールドします。

ユーザー・テストの下に**ネットワーク・インフラ・テスト**が表示されます。

- 現在の IPv4、IPv6、Wi-Fi ルーターの IP アドレスおよび MAC アドレスを特定したり、ルーティング・プロトコルを表示するには、**[デフォルト・ゲートウェイ]**アイコンをタップします。完全な結果を得るには、SNMP を設定します。**[ツール]** ボタン  をタップして、**[解析]** をタップします。
- 有線接続と Wi-Fi 接続の両方で DHCP を介して IP アドレスを取得するプロセスおよび結果を表示するには、**[DHCP サーバー]** をタップします。
- 指定した URL を解決する DNS サーバーのパフォーマンスを表示するには、**[DNS サーバー]** ボタンをタップします。
- ブロードキャスト・ドメインで検出された有線デバイスを表示するには、**有線解析**アイコンをタップします。本ガイドの「有線解析」を参照してください。

ネットワーク・インフラ・テストの下に、最も近いスイッチ・テストと Wi-Fi ネットワーク接続テストが表示されます。

- 有線接続のスイッチ名、モデル、ポートおよび VLAN を表示するには、**[最も近いスイッチ]** をタップします。SNMP が有効になっている場合は、追加情報が表示されます。
- **Wi-Fi ネットワーク接続**テストの結果を表示するには、**アクセス・ポイント**アイコンをタップします。ターゲット SSID とそのセキュリティー証明書は、読み込んだプロファイルに含まれている必要があります。

画面を下方へスクロールすると、メディア・テストが表示されます。

- **ケーブル / リンク / PoE** は、以下の機能を提供します。
 - ケーブル・テスト (アナライザーがリンクを確立できない場合)
 - リンク速度、デュプレックス、受信ペア、レベル、および極性
 - PoE クラスとタイプ、無負荷時電圧測定、TruePower™ 負荷時電圧と電力測定
- **Wi-Fi 解析**アイコンをタップすると、無線ネットワークで検出されたデバイスが表示されます。本ガイドの「Wi-Fi 解析」を参照してください。

画面の下部には、次のアイコンがあります。

- **ツール**  については後述します。
- OneTouch AT G2 機器のアイコンの左側に**有線 IP アドレス**が表示され、右側に Wi-Fi IP アドレスが表示されます。
- 有線および Wi-Fi ネットワーク接続の詳細、エラー、統計などを表示するには、画面の下部にある **OneTouch AT G2 機器のアイコン**をタップします。
- **[オートテスト]** ボタンをタップすると、リンクが開始され、インフラ・テストとユーザー・テストが実行されます。

オートテストの実行方法

オートテストでは、ネットワーク・インフラの総合的なテストとユーザー定義のテストが可能です。

OneTouch G2 アナライザーでは、オートテストを実行するまで、リンク、ユーザー・テスト、またはインフラ・テストのアクティビティを開始しません。

1. アナライザーの電源を入れる

必要に応じて、ACアダプターを接続してバッテリーを充電します。

2. ネットワークに接続する

テスト対象のネットワークをポート A (図 1 の ③) に接続します。銅線ケーブルの場合は RJ45 Ethernet ジャックを使用し、ファイバー・ケーブルの場合は SFP レセプタクルに挿入された SFP を使用します。

3. オートテストを実行する

[オートテスト] ボタン  TEST (ホーム画面の右下隅にある) をタップするか、AutoTest (オートテスト) ?? (フロント・パネルにある)  TEST を押します。OneTouch G2 アナライザーでは以下の処理を実行します。

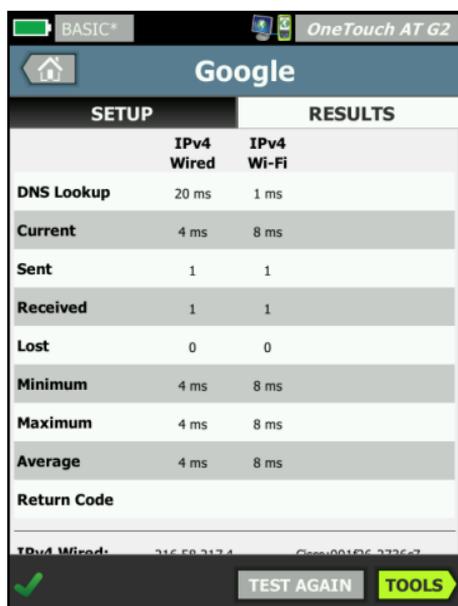
- アクティブ・ポート (有線または Wi-Fi ポート、あるいは両方) でのリンク
- IP アドレスの取得
- ネットワーク・インフラ・テストの実行
- ユーザー・テストの実行 - 複数のユーザー・テストが存在する場合は、下部テスト層の左下テストから開始され、上部テスト層の右上テストで終了します。

4. テスト結果を表示します

テストの詳細結果を表示するには、ホーム画面でそのアイコンをタップします。テストの [設定] または [結果] タブが表示されます。タブをタップして開きます。

[結果] タブの左下隅に、テストのステータス (合格  または不合格 ) が示されます。

再度、AutoTest (オートテスト) キーを押す、または [オートテスト] ボタンをタップすると、すべてのテスト結果が消去され、テストが再実行されます。



SETUP	IPv4 Wired	IPv4 Wi-Fi
DNS Lookup	20 ms	1 ms
Current	4 ms	8 ms
Sent	1	1
Received	1	1
Lost	0	0
Minimum	4 ms	8 ms
Maximum	4 ms	8 ms
Average	4 ms	8 ms
Return Code		

5. レポートを作成する

包括的なネットワーク・パフォーマンス・レポートを作成するには、次の手順に従います。

- 1 ホーム画面上部のショートカット ? バーに表示されている [OneTouch AT G2] ボタン  をタップします?
- 2 [レポートの保存] ボタンをタップします。
- 3 必要に応じてファイル名を変更して、[完了] ボタンをタップします。

テスト結果を Link-Live クラウド・サービスに自動アップロードするように、OneTouch を設定することもできます。次のページの「**OneTouch AT を Link-Live クラウド・サービスに要求する方法**」を参照してください。

レポートを管理するには、**[ツール]** ボタンをタップし、下方にスクロールして**[ファイル・ツール]** セクションを表示します。**[レポート]** ボタンを選択して、レポート・ファイル・マネージャを開きます。

6. ユーザー・テストの追加

新しいユーザー・テストを追加するには、テスト層の空白部分をタッチしてホールドします。オートテストを再度実行して、結果を表示します。

7. プロファイルの保存

プロファイルを保存するには、次の手順に従います。

- 1 必要に応じてアナライザーを設定します (ユーザー・テストの追加、設定の変更など)。
- 2 ホーム画面上部のショートカット・バーに表示されているプロファイル名をタップします。
- 3 **[保存]** ボタンをタップします。
- 4 新規プロファイルを作成する場合は、名前を入力して**[完了]** ボタンをタップします。既存の名前を使用する場合は、**[完了]** ボタンをタップします。

別のプロファイルの読み込み

プロファイルを読み込むには、画面上部のプロファイル名をタップして、読み込むプロファイルをリストから選択します。

OneTouch AT を Link-Live クラウド・サービスに要求する方法

Link-Live クラウド・サービスはテスト結果を表示、追跡、整理するための無料のオンライン・システムで、デバイスを要求すると自動アップロードできます。

- 1 **Link-Live.com** でアカウントを作成するか、すでにアカウントがある場合はサインインします。

新しい Link-Live ユーザーの場合は、ポップアップ・ボックスが自動的に表示され、デバイスを要求するよう指示されます。

- 2 **[Link-Live ユニットの要求]** ポップアップ・ボックスで、OneTouch AT の画像を選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って要求を完了します。

有線解析

有線解析中に、OneTouch G2 はパッシブ・ディスカバリーによって、ブロードキャスト・ドメインのデバイスまたはブロードキャスト・ドメインの AP に接続されているデバイス、DNS テストで指定されたサーバー、ユーザー・テストで指定されたサーバー、およびその他のデバイスを検出します。

アナライザーがトランク・ポートに接続されていて、VLAN 用に設定されていない場合は、トランク上のすべてのデバイスが検出されます。アナライザーがトランク・ポートに接続されていて、VLAN 用に設定されている場合は、同じ VLAN 内のデバイスのみが検出されます。

デバイスは分類されて、[有線解析]画面に表示されます。ホスト、アクセス・デバイス、およびサーバーのサマリー・ビューには、ネットワーク上のデバイスの概要と、IP アドレス、MAC アドレス、スイッチのスロットとポート、使用率、問題など、関連する詳細情報が表示されます。

Wi-Fi 解析

OneTouch AT G2 アナライザーの Wi-Fi 解析機能では、使用している 802.11 ネットワーク、アクセス・ポイント、クライアント、およびチャネルの検出および解析を行うことができます。また、非 802.11 の干渉デバイスを確認、分類し、その場所を特定できます。

クライアント接続をトラブルシューティングするツールが用意されています。このアナライザーは 802.11 a/b/g/n/ac テクノロジーをサポートしており、2.4 GHz 帯および / または 5 GHz 帯で動作します。

Wi-Fi 解析を開始するには、Wi-Fi を有効にする必要があります。

Wi-Fi ネットワークにリンクするようにアナライザーを設定する方法

- 1 ホーム画面で、**ツール**  をタップします。
- 2 **[Wi-Fi]** ボタンをタップします。
- 3 **[Wi-Fi を有効にする]** と **[接続を有効にする]** の両方が **[On]** になっていることを確認します。
- 4 **[SSID]** ボタンをタップして、ネットワークを選択します。
- 5 **[セキュリティ]** ボタンをタップして、ネットワークの認証情報を入力します。
- 6 オートテストを実行します。

ホーム画面の **Wi-Fi 解析** アイコンが変化して、Wi-Fi リンクまたはスキャン・ステータスを示します。



停止 - Wi-Fi 解析を開始するには、このアイコンをタップします。



リンク済みおよびテスト中



リンク済みだがテスト中ではない - オートテストが完了しても、リンクが保持されます。Wi-Fi リンクの削除、Wi-Fi スキャンの開始、[Wi-Fi 解析]画面の表示を行うには、このアイコンをタップします。



スキャン中 - アナライザーで Wi-Fi 解析 (スキャン) を実行しています。アイコンをタップすると、[Wi-Fi 解析]画面が表示されます。

ツール

[ツール] ボタン  をタップすると、以下の機能にアクセスできます。

- **セットアップ・ウィザード** - デバイス・プロファイルの設定をガイドします。
- **テスト設定** - 有線および Wi-Fi 接続の設定
- **クラウド・ツール** - Link-Live クラウド・サービス (オートテスト、傾向分析、ユニットの要求、ユニット名、クラウド・リモート) を対話操作するのに使用します。

- **テスト・ツール**—パケットのキャプチャ、VoIP 解析、Wi-Fi ネットワーク検証、パフォーマンス・ピア、Web ブラウザー、Telnet/SSH、トナー、フラッシュ・ポート、FiberInspector/WebCam
- **ファイル・ツール**—プロファイル、AP 認可リスト、レポート、スクリーン・キャプチャを管理するのに使用します。
- **メンテナンス・ツール**—バッテリーの状態、言語、日時、単位、ディスプレイの輝度など

マーク、認証、および準拠

	警告または注意：機器またはソフトウェアへの損傷または破損の危険があります。
	警告：火災、感電、怪我の危険があります。
	警告：クラス 1 レーザー (SFP モジュールが取り付けられている場合)。光コネクタ内を直接見ないでください。危険な放射により、目に障害を与えるおそれがあります。
	CE マーキング。EU および欧州自由貿易連合 (EFTA) の要件に適合しています。
	カナダ規格協会 (CSA) により承認済みです。
	本器は、オーストラリアの規格に適合しています。
	RoHS 指令に準拠
	回路基板を含む製品は、一般ごみとして捨てないでください。回路基板の破棄については、地域の法律に従ってください。
	本デバイスを電話回線または ISDN 回線に接続しないでください。
	関連する韓国の EMC 規格に準拠しています。

環境規制

ブラジル 環境規制	Este equipamento opera em carater secundario, isto e, nao tem direito a protecao contra interferencia prejudicial, mesmo de estacoes do mesmo tipo, e nao pode causar interferencia a sistemas operando em carater primario.
韓国 電磁適合性。韓国内で使用する場合のみ適用されます。クラス A 機器 (放送および通信産業用機器)	本製品は産業用 (クラス A) 電磁機器の要件に適合しています。販売者またはユーザーはこの点を認識している必要があります。本機器は商用での使用を目的としており、家庭での使用は考慮されていません。

<p>メキシコ COFETEL 通知</p>	<p>La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.</p>
<p>台湾 LP0002 に則ったアクセス・ポイント規制準拠に関する警告</p>	<p>低功率電波輻射性電機管理辦法 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。 前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。</p>

一般仕様

バッテリー・タイプ: 充電式リチウム・イオン・バッテリー・パック

温度:

作動時: 0 ~ +50°C

充電時: 0 ~ +40°C

保管時: -40 ~ +71°C

作動時高度: 4,000 m、3,200 m (AC アダプター使用時)

保管時高度: 12,000 m

安全規格: IEC 61010-1: CAT なし、汚染度 2

EMC: IEC 61326-1: 持ち運び可能

技術仕様

本製品の技術仕様は、enterprise.netscout.com からオンラインで入手できるユーザーズ・マニュアルを参照してください。

登録

製品を登録すると、製品のアップデート、トラブルシューティングのヒント、その他の役立つサポート・サービスに関する有益な情報にアクセスできます。オンラインで登録するには、enterprise.netscout.com/registration にアクセスします。

初めにアナライザーの電源を入れると、セットアップ・ウィザードが表示され、製品の登録とアナライザーの設定およびテストがガイドされます。

登録状態を確認するには、**[ツール]**  と下の **[メンテナンス・ツール]** をタップし、**[製品登録]** をタップします。

NETSCOUT の連絡先



enterprise.netscout.com



customercare@netscout.com



米国内のフリーダイヤル: +1-844-833-3713

国際電話: 978-320-2150

お問い合わせ先について詳しくは、弊社の Web サイトをご覧ください。

法的通知

本製品を使用するには、<http://www.netscout.com/legal/terms-and-conditions/> で入手できる、もしくは出荷時に出荷時に製品に添付されている使用許諾契約書、または該当する場合は NETSCOUT SYSTEMS, INC. と本製品の購入者間で締結された契約書（「契約」）に従う必要があります。

政府使用と制限付き権利の通知：米国政府（「政府」）の契約または下請け契約では、この政府使用契約に従って販売または供給する製品、ドキュメント、および技術データなど（「資材」と総称）は、連邦調達規則（「FAR」）2.101 に定義された商業用であり、補足資料などには制限付き権利が備わっていることを顧客が規定します。すべての資材は完全に自費で作成されました。資材の使用、複製、公開、変更、譲渡、または開示（「使用」）は、

本契約の条件によって制限され、さらに政府機関の民生目的に関する FAR 52.227-14 と政府機関の軍事目的に関する国防連邦調達追加規則（「DFARS」）の 252.227-7015、またはその他の関連政府機関の類似した調達規則の規定および修正に従って制限されます。資材の使用は、本契約の条件と DFARS 227.7202 項および FAR 12.212 項に従って制限され、さらに NETSCOUT の商用使用許諾契約書の条件に従って制限されます。本書に記載されている場合を除いて、その他の使用はすべて禁止されます。

本製品にはサード・パーティ技術が含まれていることもあります。NETSCOUT は本製品とともに使用するためにのみ、当該サード・パーティ技術およびドキュメント（「サード・パーティ資材」）のライセンスを供与できます。本製品にサード・パーティ資材が含まれている場合、または本製品をサード・パーティ資材とともに使用するオプションがある場合（関連ドキュメントで NETSCOUT によって示されています）、当該サード・パーティ資材は本製品のアプリケーション CD にある「Read Me」または「About」ファイルに記載されている当該サード・パーティ条件に従って提供されるか利用できます。サード・パーティから NETSCOUT にライセンスされたサード・パーティ資材が本製品に含まれている限りにおいて、それらのサード・パーティは当該サード・パーティ条件の第三受益者となり、それらの条件の適用条項を主張できません。

オープンソース・ソフトウェアの通知：本製品には、GNU General Public License（「GPL」）によって管理されているオープンソース・コンポーネントまたは GPL ライセンスと互換性のあるライセンス（「GPL 互換ライセンス」）が組み込まれていることがあります。GNU GPL の条件に従って、NETSCOUT は書面による要求の受領後直ちに、本製品で GPL または関連 GPL 互換ライセンスの適用を受けるソースコード・コンポーネントがあれば、その完全な機械可読コードを提供します。本製品を確認して、要求を下記の住所にお送りください。

NETSCOUT SYSTEMS, INC.

GNU GPL Source Code Request

310 Littleton Road

Westford, MA 01886

Attn: Legal Department

NETSCOUT SYSTEMS, INC. は自らの裁量により、技術情報、仕様、サービス、およびサポート・プログラムをいつでも変更する権利を留保しています。

Rev.02/04/2016